令和３年度　仙台伝統ものづくり塾共催事業

共催　仙台市柏木市民センター
仙台伝統ものづくり塾実行委員会(いきいき青葉区推進協議会)

柏木市民センターでは平成２８年度から、仙台伝統ものづくり塾実行委員会との共催で地域の伝統を学び、職人さんの技に触れる講座を開催しています。
令和３年度は仙台・宮城伝統の焼き物、堤焼をテーマに連続講座を開催しました。

「仙台みそ　お渡しの会」

今年２月に木町通市民センターの調理室を会場に「仙台みそ作りとその歴史」を開催し、20 名の受講生が仙台みその仕込みを体験しました。みそは亀兵商店で熟成され、10 月 1 日（金）に受講生にお渡ししました。当日は、講師を引き受けていただいた亀兵商店の亀田治氏をお迎えして、みそのでき具合、おいしい調理方法、保存の仕方についてのお話を伺いました。受講生からは「遠くに住んでいる家族にもふるさとの味を食べてほしい。」「歴史を学び、みそ作りも体験できて大変勉強になった。」などの感想がありました。

日時：１０月１日（金）
11:00～12:00
会場：柏木市民センター　会議室

仙台・宮城伝統の焼き物「堤焼の歴史に触れる」全3回

第1回　講話
「仙台城下の工芸～堤焼と堤人形～」

日時：１１月１３日（土）
10:00～12:00
会場：柏木市民センター　会議室

300 年以上の歴史ある堤焼の歴史を学ぶ第１回は仙台市博物館学芸員小田嶋なつみ氏による講話でした。仙台城下の北側を守る足軽衆の内職として発達した堤焼の歴史や特徴のほか堤焼と共生する形で作られていた堤人形についてもお話を伺いました。

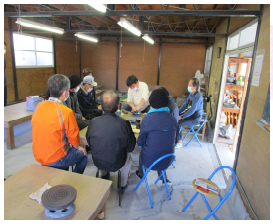
第2回　現地探訪
「堤町を歩いて、焼き物の里の痕跡を探す」

日時：１１月２０日（土）10:00～12:00
会場：堤町周辺

奥州街道沿いの堤町は仙台城下の北の玄関口として栄え、江戸時代は税を徴収する御仲下改所（おすあいどころ）が置かれていました。このあたりは良い粘土が取れたことから江戸時代後半に足軽の副業として焼き物生産や人形作りが行われるようになりました。当日は天気にも恵まれ、フリーライターで青空編集室を主宰されている西大立目祥子氏と日浄寺、天神社、登り窯が残っている佐大ギャラリー、つつみのおひなっこやを見学しました。

第3回　講話・陶芸体験
「堤焼に挑戦！自分だけの大切な器をつくろう」

日時：１１月２７日（土）10:00～12:00
会場：堤焼　乾馬窯(泉区上谷刈)



第 3 回は針生乾馬氏から堤町から泉区に窯を移した経緯や堤焼の特徴についてお話を伺い、受講生９人がろくろを使いながら器作りをしました。

ひも状にした粘土を重ねて茶碗やぐい呑みなどそれぞれがイメージした形にしていきます。焼き上がりは２割ほど小さくなるそうです。黒と白のなまこ釉がかけられた作品が受講生の手元に届くのは２月末頃になる見込みです。受講生からは「自分の住んでいる堤町に興味があって参加した。」「もっと時間がほしかった。」「堤焼をまたやってみたい。」などの感想が寄せられました。